

CASBEE[®] - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 牟田病院新築工事	階数	地上6階、塔屋1階
建設地	福岡県福岡市	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居地域、第二種住居	平均居住人員	832 人
地域区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 0.0	評価の実施日	2016年4月19日
敷地面積	8,234 m ²	作成者	
建築面積	1,573 m ²	確認日	2016年4月19日
延床面積	7,702 m ²	確認者	〇〇〇

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 184 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 高効率機器、節水器具等を採用し省エネルギー、省資源に配慮する。 既存樹木の保存を行う。		0
Q1 室内環境 窓面積を大きく設け、昼光率を高める計画とする。 ペアガラスを用いて外皮性能の向上を図る。	Q2 サービス性能 使い勝手に配慮し、メンテナンス性の良い設計とする。 病室面積、天井高さを十分に確保し、ゆとりある空間計画とする。	Q3 室外環境(敷地内) 既存緑地を活かし、接道部を積極的に緑化する。
LR1 エネルギー 高効率機器、節水器具等を採用し省エネルギー、省資源に配慮する。	LR2 資源・マテリアル 低環境負荷材を採用し、環境に配慮する。	LR3 敷地外環境 環境に配慮した設備計画とする。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される